

日本シイムケイ株式会社

証券コード:6958

**CMK**  
Creating the future

# 第59期 報告書

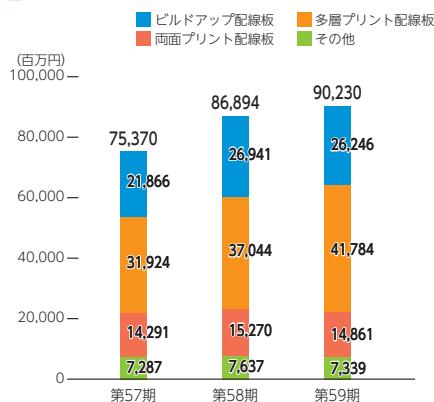
2018年4月1日から2019年3月31日まで



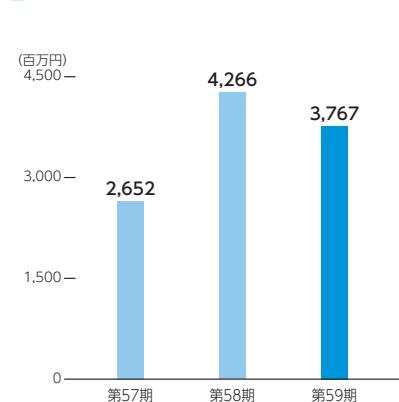
## POINT

- 自動車の電装化進展により、引き続き主力の車載向け受注が堅調に推移
- 為替の影響及び国内需給バランスの一時的な調整に伴う稼働率低下の影響などにより営業利益は減益

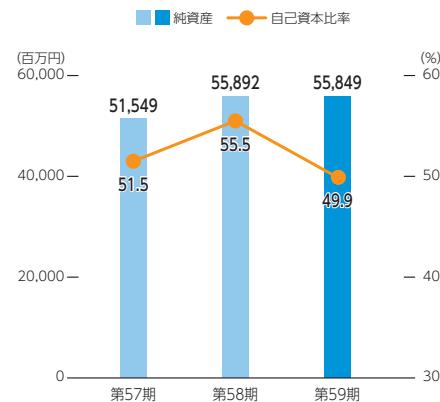
### 売上高



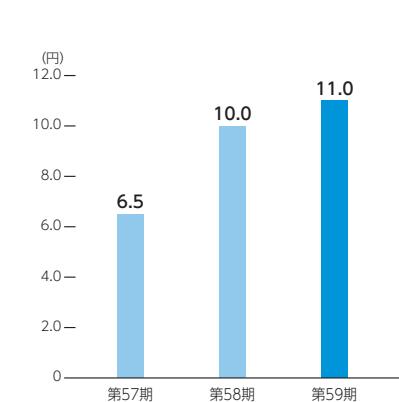
### 営業利益



### 純資産・自己資本比率



### 配当金





株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第59期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)における概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 大澤 功

## 第59期業績について

当連結会計年度における我が国経済は、内需に支えられ雇用・所得環境の改善が持続したものの、世界経済に対する懸念から、不透明感が高まりました。海外においては、米国経済は個人消費が好調を維持し、欧州経済及び中国経済は、景気の減速傾向が見受けられました。

このような環境のもと、当社グループが主力とする車載向けプリント配線板市場においては、環境規制強化によるPHVやEVの普及など、自動車の電子化進展により、需要が堅調に拡大しております。

当社グループは、車載向けを中心とした受注増加に対して、

生産能力拡大に向けた設備投資を実施するとともに、生産性向上を進めております。これらの結果、連結売上高は902億30百万円(前期比3.8%の増収)となりました。

利益面につきましては、為替の影響及び、国内需給バランスの一時的な調整に伴う稼働率低下の影響などにより、営業利益は37億67百万円(前期比11.7%の減益)となりました。また、営業利益の減少に伴い、経常利益は37億70百万円(前期比3.7%の減益)、一部の投資有価証券において評価損が発生したため、親会社株主に帰属する当期純利益は20億15百万円(前期比44.6%の減益)となりました。

## ■ 車載用途における競争優位性のある事業領域



## 今後の見通しについて

当社グループが主力とする車載向けプリント配線板市場においては、環境規制強化によるPHVやEVの普及など、自動車の電子化進展により、需要が堅調に拡大しております。

一方、競合各社とのグローバルでの競争は、ますます激しくなるものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループでは中長期ビジョンを『やりがいと顧客満足度を上げるための事業体制に変身する』とし、2019年度を初年度とした中期経営計画2019 (2019年度～2021年度) を策定いたしました。

当社グループは、今後も成長が見込まれる車載向けプリント配線板市場のなかでも、特に高い品質と信頼性が要求されるエンジンやブレーキ、予防安全装置等が含まれるパワーtrain・走行安全系の分野を競争優位性のある事業領域と位

置づけております。車載市場を主軸とした高付加価値分野での成長を実現するために「設備投資300億円」「構造改革」「企業品質向上」を3つの重点施策として収益性と資本効率を高めてまいります。設備投資300億円による生産能力増強と生産性向上、収益力強化に向けた各業務プロセスの構造改革の実施、企業品質向上を図る為のESGの推進及び財務健全性の維持・強化を着実に実行することで、2021年度に、売上高1,000億円、営業利益80億円(営業利益率8%)、ROE10%を達成する計画としております。

さらなる企業価値の向上に向けて全力で取り組み、継続的な安定配当による株主様への利益還元を行ってまいります。株主のみなさまにおかれましては、何卒、ご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結貸借対照表

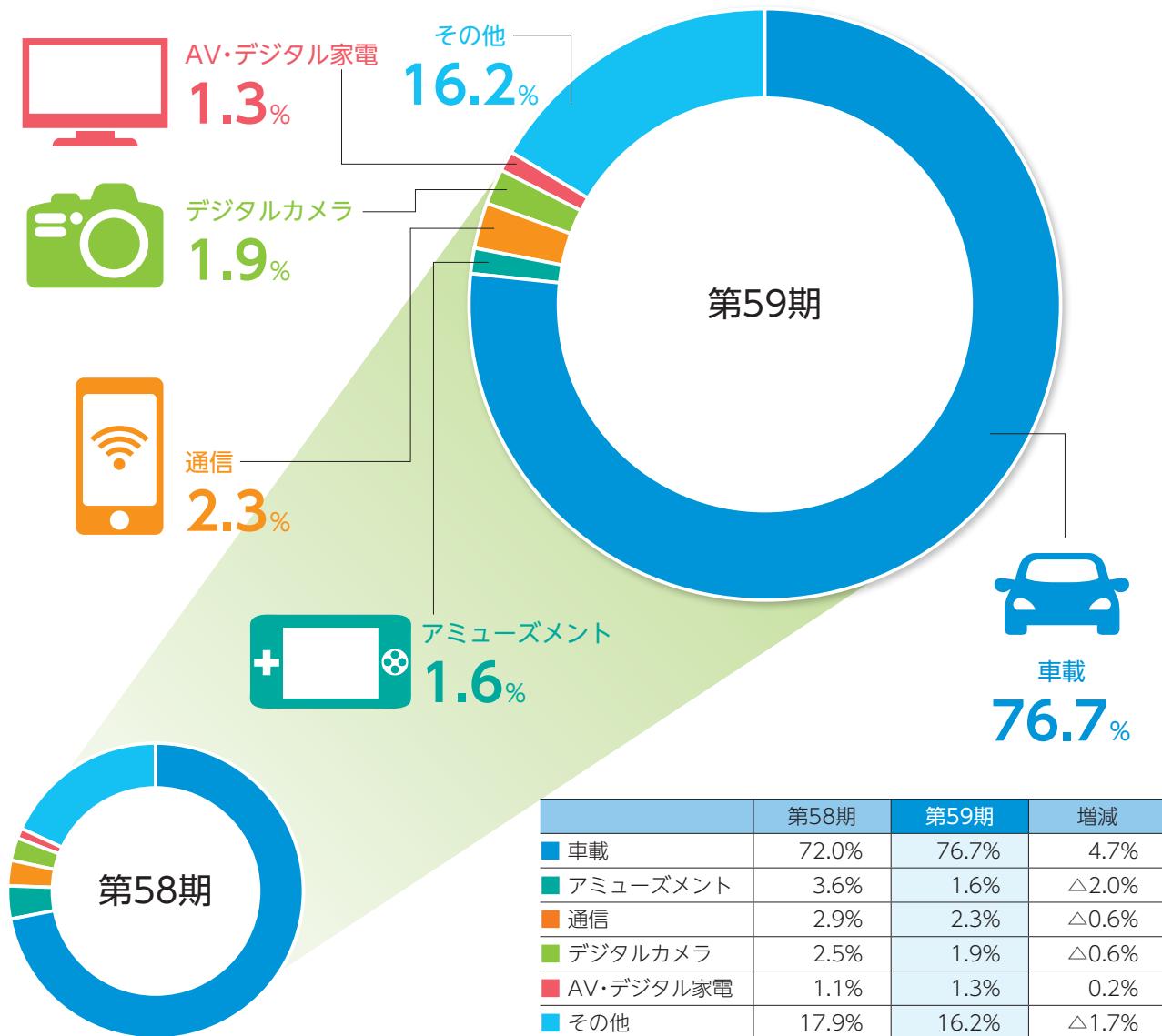
(単位：百万円)

	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	61,066	52,277
固定資産	44,072	42,346
有形固定資産	37,503	34,788
無形固定資産	339	371
投資その他の資産	6,228	7,185
繰延資産	50	50
<b>資産合計</b>	<b>105,189</b>	<b>94,674</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	25,917	30,397
固定負債	23,422	8,384
<b>負債合計</b>	<b>49,340</b>	<b>38,782</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	50,251	48,828
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	16,628	16,628
利益剰余金	14,451	13,027
自己株式	△3,134	△3,134
その他の包括利益累計額	2,208	3,670
非支配株主持分	3,389	3,393
<b>純資産合計</b>	<b>55,849</b>	<b>55,892</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>105,189</b>	<b>94,674</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	前期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	90,230	86,894
売上原価	77,180	74,036
売上総利益	13,050	12,857
販売費及び一般管理費	9,283	8,591
営業利益	3,767	4,266
営業外収益	633	438
営業外費用	630	787
経常利益	3,770	3,917
特別利益	207	62
特別損失	1,005	260
税金等調整前当期純利益	2,972	3,718
法人税等	722	62
当期純利益	2,249	3,656
非支配株主に帰属する 当期純利益	233	17
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,015	3,638



## 中長期ビジョン

### 「やりがいと顧客満足度を上げるための事業体制に変身する」

『世界最高レベルで安心感のある製品』を世の中に供給することにより、ステークホルダーからの期待に応えとともに、社員の幸せ・成長を実現する。

#### ■中長期戦略の骨子

##### 市場環境

- プリント配線板市場は、通信関連、**車載向け中心に拡大**
- 電動化、自動運転、5Gの普及に伴い、更なる**需要拡大と品質・信頼性に対するニーズの高まり**が見込まれる
- 車載同様、高い品質・信頼性が求められ、今後拡大していく市場として、**産業機器、医療分野**等が考えられる

##### 当社の強み

- 車載向け売上高のうち、**パワートレイン・走行安全系が5割弱**
- 車載向け**ビルドアップ配線板は世界シェア約4割**（当社推定）
- 技術・経験の蓄積に裏付けられた、**解析能力・顧客対応スピード**
- 安定した財務基盤に基づく、**長期の製品供給・保証体制**
- 大手自動車部品メーカーとの**ロードマップの共有**

自社の強みを活かせる分野に  
選択・集中

注力する事業領域を絞り込み、用途・基板種類別にターゲットを選定  
車載市場を主軸とした高付加価値分野での成長を図る

#### ■中期経営計画2019

経営方針：

当社の強みを活かせる車載市場を主軸とした高付加価値分野に注力し、**収益性と資本効率**を高める

##### 中期経営計画達成のための3本の柱

設備投資  
300億円

生産能力増強と生産性向上

構造改革

収益力強化に向けた営業・生産・調達・人事における各業務プロセスの構造改革

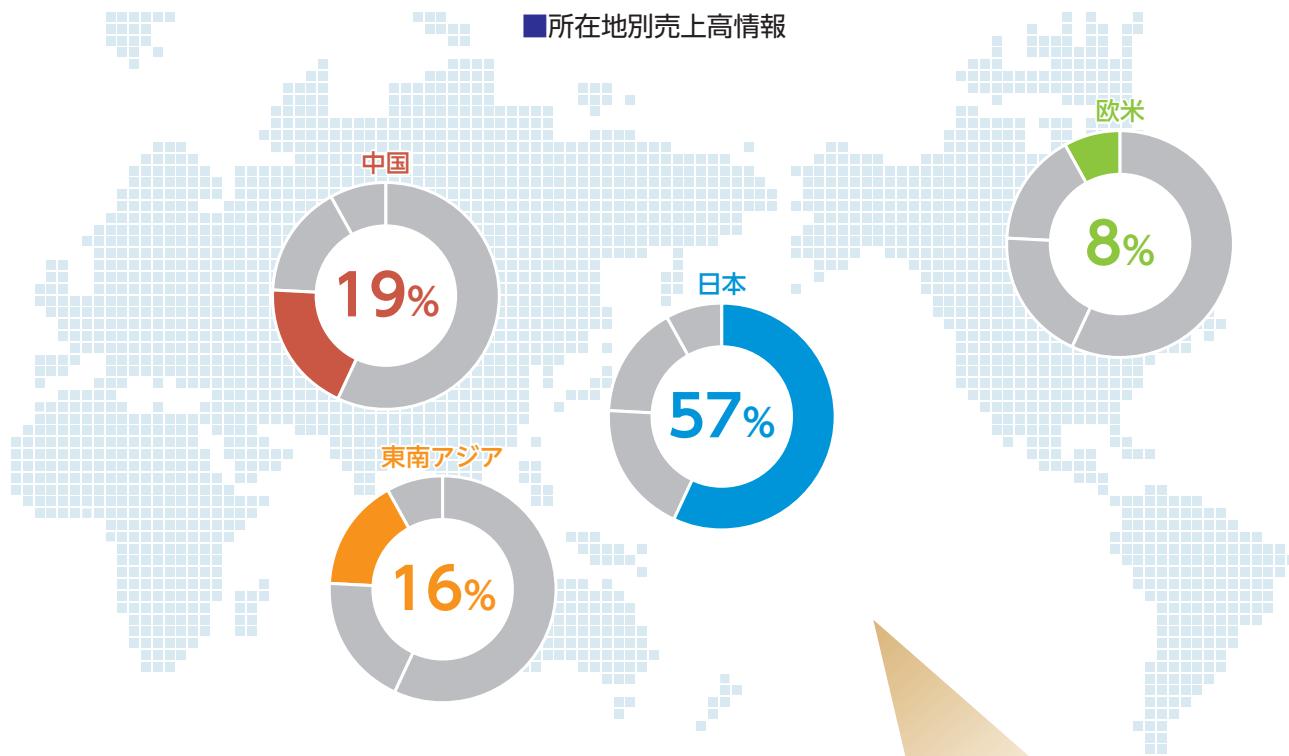
企業品質  
向上

ESGの推進及び財務健全性の維持・強化

数値目標：



■所在地別売上高情報



## Global TOPICS

### 希門凱電子(無錫)有限公司(ビルドアップ)

- 車載分野におけるビルドアップ配線板の需要増加に対応するため、現状比、約20%の生産能力増強投資を実施中



### CMK CORPORATION (THAILAND) CO.,LTD.(両面・多層貫通・ビルドアップ)

- パワートレイン・走行安全系などの需要増加に対応するため、現状比、約25%の生産能力増強投資を実施中





## 日本

売上高 **515億20**百万円  
(前期比2.1%増収)

セグメント利益 **19億61**百万円  
(前期比27.2%減益)

### 当期の概況

国内の自動車生産は輸出向けを中心に堅調に推移し、自動車の電子化進展などが当社販売に寄与しました。この結果、車載向けでの販売が増加し、売上高は515億20百万円(前期比2.1%の増収)となりました。利益面では、国内需給バランスの一時的な調整に伴う稼働率低下の影響などにより、セグメント利益は19億61百万円(前期比27.2%の減益)となりました。

## 中国

売上高 **167億96**百万円  
(前期比2.0%減収)

セグメント利益 **16億20**百万円  
(前期比33.7%増益)

### 当期の概況

日系完成車メーカーの自動車販売台数は、景気減速の影響を受けながらも、堅調に推移しました。このような市場環境の中、当社においては車載向けでの販売が増加しているものの、アミューズメント向けの販売が減少し、売上高は167億96百万円(前期比2.0%の減収)となりました。利益面では、生産性改善が寄与したことなどにより、セグメント利益は16億20百万円(前期比33.7%の増益)となりました。

## 東南アジア

売上高 **148億49**百万円  
(前期比17.1%増収)

セグメント利益 **2億73**百万円  
(前期比2.7%減益)

### 当期の概況

東南アジア経済は、良好な雇用・所得環境を背景に、消費が底堅さを維持しております。タイにおいては自動車販売台数が増加しており、当社においては車載向けを中心に販売が増加し、売上高は148億49百万円(前期比17.1%の増収)となりました。利益面では、タイパーツが対米ドルで通貨高に推移したことなどにより、セグメント利益は2億73百万円(前期比2.7%の減益)となりました。

## 欧米

売上高 **70億64**百万円  
(前期比6.6%増収)

セグメント利益 **4億9**百万円  
(前期比0.7%減益)

### 当期の概況

米国、欧州共に自動車販売台数は横這いの中、当社においては車載向けでの販売が増加し、売上高は70億64百万円(前期比6.6%の増収)となりました。セグメント利益は4億9百万円(前期比0.7%の減益)となりました。

**商号** 日本シエムケイ株式会社  
(証券コード6958 日本CMK)

**創立** 1961年(昭和36年)2月25日

**資本金** 223億620万3,140円

**従業員数** 1,204名(CMKグループ4,990名)

**役員** (2019年6月26日現在)

## 取締役及び監査役

代表取締役社長 執行役員会議長	大澤 功
専務取締役 執行役員	黒沢 明
取締役執行役員	花岡 仁志
取締役執行役員	白井 孝浩
社外取締役	右京 強
社外取締役	佐藤 りか
社外取締役	原 口文雄
常勤監査役	小笠原 敬
常勤監査役	小池 正
社外監査役	大高 由紀夫
社外監査役	柿崎 昭裕

## 執行役員

執行役員	石坂 嘉章
執行役員	河島 正紀
執行役員	栗山 昌也
執行役員	佐藤 弘幸
執行役員	柴田 栄造
執行役員	立川 隆弘
執行役員	中山 明治
執行役員	萩原 正芳
執行役員	松尾 朋則
執行役員	松尾 直樹
執行役員	和田 知良

## 主要な連結子会社

### 国内

- シイエムケイ・プロダクツ株式会社
- シイエムケイファイナンス株式会社

### 海外

- CMK ASIA (PTE.) LTD.
- CMK CORPORATION (THAILAND) CO., LTD.
- 新昇電子(香港)有限公司
- 新昇電子貿易(深圳)有限公司
- 旗利得電子(東莞)有限公司
- 希門凱電子(無錫)有限公司
- CMK EUROPE N.V.
- CMK AMERICA CORPORATION

## ホームページのご案内

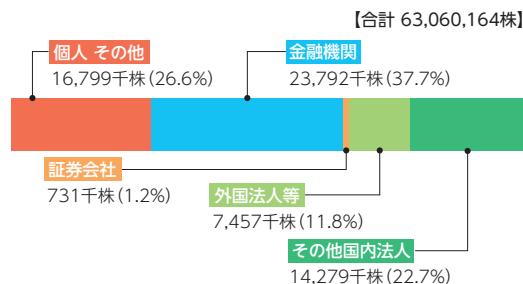
- トピックス
- 製品・技術情報
- 企業情報
- IR情報
- CSR
- 採用情報

こちらでは詳細な情報を開示しております。



発行可能株式総数	227,922,000株
発行済株式総数	63,060,164株
株主数	7,702名
単元株式数	100株

## 所有者別 株式分布状況



## 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,574	7.7
中山 高広	2,836	4.7
株式会社みずほ銀行	2,576	4.3
一般財団法人電子回路基板技術振興財団	2,500	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,386	4.0
第一生命保険株式会社	1,895	3.2
橋本 浩	1,890	3.1
中山 明治	1,886	3.1
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託きらぼし銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1,745	2.9
株式会社キョウデンエリアネット	1,735	2.9

(注) 1. 当社は、自己株式3,863,270株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月

**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

**公告方法** 電子公告により行います。  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。  
公告掲載の当社ホームページアドレス  
<https://www.cmk-corp.com>

**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

**同連絡先** 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

**特別口座の口座管理機関** 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社

**同連絡先** 〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
電話 0120-707-843(フリーダイヤル)

### 各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(みずほ信託銀行)にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等について
  - ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
  - ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関(日本証券代行)へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

## 単元未満株式の買増・買取制度のご案内

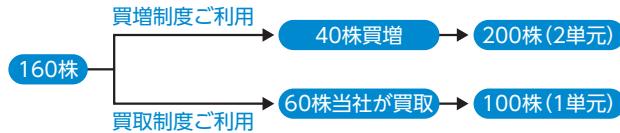
当社の単元株式数は100株となっておりますので、単元未満株式(100株未満の株式)については市場で売買することができません。

当社では「単元未満株式買増制度」及び「単元未満株式買取制度」を設けておりますのでご案内申し上げます。

**買増制度** 株様をご所有の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求いただける制度です。

**買取制度** 株様をご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる制度です。

**具 体 例** 株様が160株をご所有の場合



※当社では、単元未満株式の買増・買取手数料を無料としております。ただし、特別口座以外の口座管理機関(証券会社)でお取引された場合、取次手数料が発生する場合がありますので、詳細はお取引のある証券会社にご確認ください。

## お手続きなどの詳細につきましては

### **[証券会社に口座を開設されている株主様]**

口座を開設されている証券会社にお問合せください。

### **[証券会社に口座を開設されていない株主様(特別口座の株主様)]**

日本証券代行株式会社 代理人部

電話 0120-707-843(フリーダイヤル)にお問合せください。

# CMK

〒163-1388 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号  
新宿アイランドタワー43F  
電話 03-5323-0231(大代表)

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

